

# 平成26年度「福井新々元気宣言」推進に係る政策合意の実施結果 (平成27年3月末現在)

「福井新々元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成26年4月に知事と合意した「政策合意」の実施結果について、次のとおり報告します。

平成27年3月

国体推進局長 小寺 啓一

## I 総括

### 1 競技会、式典の着実な準備および競技力の向上

- ・ 国体のデモンストレーションスポーツや、福井しあわせ元気大会のオープン競技について、実施競技および会場地を決定しました。
- ・ 27年度の式典基本計画策定に向け、式典前演技のテーマや素材、演出の構成案を検討しました。また、式典の企画・演出案について専門的・総合的見地から指導・助言をいただくため、式典総合プロデューサーとして山根一真氏を選出しました。
- ・ 競技会場施設の整備にあたり、競技力向上や県民のスポーツ利用の促進に配慮し、計画的に工事を進めました。

### 2 県民総参加による県民運動の推進

- ・ 県民や企業、団体が実施する活動内容を具体的に示す「福井しあわせ元気国体・大会 県民運動アクションプログラム [第1版]」をとりまとめました。
- ・ 県民の両大会への参加機運を盛り上げるため、福井しあわせ元気スポーツフェスタなどスポーツ体験イベントを開催しました。

## II 「政策合意」項目にかかる結果について

- ・ 別紙「平成26年度 政策合意項目にかかる実施結果報告（国体推進局）」のとおり



平成26年度 政策合意項目にかかる実施結果報告(国体推進局)  
(平成27年3月末現在)

【実施結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要のあるもの)

役職	国体推進局長	氏名	小寺 啓一
項 目		実 施 結 果	
<p>1 国体を目指す県民スポーツ、生活のなかに楽しむ県民文化</p> <p>◇ 飛躍する福井のスポーツ</p> <p>○競技会および式典の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国体を通じたスポーツ文化の浸透を目指し、県民が実際に参加し楽しめるデモンストレーションスポーツや、福井しあわせ元気大会のオープン競技を、2月に一括して選定します。</li> <li>・審判員の養成や競技用具の整備を計画的に進めます。</li> <li>・全国から来県する選手・監督などの受入れに向けて、宿泊施設や輸送手段の確保に着手します。</li> <li>・全国に誇れる開・閉会式の開催に向け、祭りや伝統芸能、歴史などの素材の情報を収集し、これらを活用した福井らしい演出を検討するなど、平成27年度の式典基本計画の策定に向けた準備を進めます。</li> <li>・両大会の物品等の調達については、県産品や県産材など地場産品の開発・活用や県内事業者の契約機会の確保に努めます。</li> </ul>		<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>国体のデモンストレーションスポーツや、福井しあわせ元気大会のオープン競技について、実施競技および会場地を2月に一括して決定しました。</p> <p>競技団体や市町と協力して、審判員の養成や競技用具の整備を計画的に進めました。</p> <p>国体関係者の宿泊について、各競技のチームごとに部屋を割り当てるシミュレーションを行い、宿泊施設の充足対策を検討するとともに、宿泊施設に対して部屋数提供への協力を働きかけました。また、開・閉会式への参加者を、時間内に安全、確実に輸送するための調査を実施し、課題の抽出を行いました。</p> <p>27年度の式典基本計画策定に向け、式典前演技のテーマや素材、演出の構成案を検討しました。また、式典の企画・演出案について専門的・総合的見地から指導・助言をいただくため、式典総合プロデューサーとして2月に山根一眞氏を選出しました。</p> <p>両大会の物品等の調達について、5月に、県と17市町で「調達方針」を審議・決定し、これに基づき県内企業への発注や県産品の活用に努めました。また、地場産品の開発・活用や県内事業者の契約機会の確保を図るため、27年度に発注予定の物品等の仕様や数量、28年度以降の物品等の調達事例について、3月に公表しました。</p>	
<p style="text-align: center;">国体のデモンストレーションスポーツ 30競技(1市町1競技以上)</p> <p style="text-align: center;">福井しあわせ元気大会のオープン競技 1~2競技</p> <p style="text-align: center;">新たに養成する審判員 210名</p>		<p style="text-align: center;">国体のデモンストレーションスポーツ 37競技(全17市町で開催)</p> <p style="text-align: center;">福井しあわせ元気大会のオープン競技 3競技</p> <p style="text-align: center;">新たに養成する審判員 223名</p>	

役職	国体推進局長	氏名	小寺 啓一
項目		実施結果	
<p>○競技会場施設の計画的な整備と競技力向上【部局連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井運動公園の各施設や市町の競技会場施設などの整備に際しては、新築の施設の早期完成や改修時期の分散、練習会場の確保などに留意し、計画的に工事を進めることにより、競技者の競技力向上や県民のスポーツ利用の促進に努めます。</li> <li>・全国障害者スポーツ大会の開催に向けて、競技会場施設の現況調査を実施するなどバリアフリー対策に努めます。</li> </ul>		<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <p>競技会場施設の整備にあたり、競技力向上や県民のスポーツ利用の促進に配慮し、計画的に工事を進めました。この結果、国体までに改修等が必要な42施設のうち22施設で整備に着手しております（着手率52%）。</p> <p>全国障害者スポーツ大会の開催に向け、競技会場施設の現況を調査し、段差があるためスロープを設置する必要がある場所等を確認しました。</p>	
<p>○県民総参加による県民運動の推進【部局連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民がボランティアなどで主体的に携わる「1県民1参加」、生涯を通じたスポーツ活動に結び付ける「1県民1スポーツ」、来県者をもてなし福井の魅力を発信する「1県民1自慢」の3つの基本目標に基づいた県民運動のアクションプログラムを年内に策定します。</li> <li>・実施競技やデモンストレーションスポーツを体験できるイベントを開催するなど多くの県民がスポーツに触れる機会を提供します。また、マスコットキャラクターや国体ダンスを活用した広報活動を展開し、両大会の開催に向けた参加機運の盛り上げに努めます。</li> </ul> <p>〔 県民の福井国体への参加意欲 75% （平成24年度 72.7%） 〕</p>		<p>〔成果等〕 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>県民運動のアクションプログラムの策定に向け、5月以降、関係団体や市町と意見交換を行いました。2月に「福井しあわせ元気国体・大会 県民運動アクションプログラム [第1版]」をとりまとめました。</p> <p>県民の国体への参加機運を盛り上げるため、「福井しあわせ元気スポーツフェスタ」や「チャレンジ!わんスポ!」などのスポーツ体験イベントを開催しました（体験者：約2万2千人）。また、マスコットキャラクター「はびりゅう」による広報活動（8月から3月までで177回）や国体・大会ダンスの制作・披露などを通じ、両大会への参加機運の盛り上げに努めました。</p> <p>〔 県民の福井国体への参加意欲 74.8% 〕</p>	